

# 自立活動学習指導案

河内長野市立千代田小学校

指導者 【A チーム】 ○○ ○○  
○○ ○○  
○○ ○○  
【B チーム】 ○○ ○○  
○○ ○○  
○○ ○○  
【C チーム】 ○○ ○○  
○○ ○○  
○○ ○○

1. 日時 令和 8 年 2 月 10 日(火)5時間目(13:55~14:40)
2. 場所 河内長野市立千代田小学校 【A チーム】なかよし 2 組教室  
【B チーム】なかよし 6 組教室  
【C チーム】なかよし 8 組教室
3. 学年・組 【A チーム】  
第 1 学年(7 名) 第 3 学年(1 名) 第 4 学年(10 名) (計 18 名)  
【B チーム】  
第 2 学年(7 名) 第 3 学年(1 名) 第 6 学年(10 名) (計 18 名)  
【C チーム】  
第 3 学年(6 名) 第 5 学年(13 名) (計 19 名)
4. 単元名 「言葉と遊ぼう ～語彙・読み・表現を育てる学習～」
5. 教材名 サイコロクエスト

## 6. 単元の目標

- ◎文字・語彙・短文の読みに親しみ、基礎的な言語技能を身につける。【知識及び技能】
- 言語材料や目標表現をもとに、自分の言葉で説明したり、相手に伝えたりすることができる。【思考力、判断力、表現力等】
- 学習のルールを守って活動に参加し、自分の学力に合った課題に取り組もうとする姿勢が見られる。【学びに向かう力、人間性等】

## 7. 指導にあたって

### (1) 児童について

本校の支援学級の子どもは55名で、様々な子どもが在籍している。学習に関しては、当該学年の課題に近い内容に取り組むことができる子どももいる。一方で、多くの子どもは学習の積み重ねが難しく復習を取り入れながら基礎的な内容の定着を目指しており、取り組むべき課題も一人ひとり異なる。学習へ向かう姿勢は、落ち着いてじっくり取り組もうとする子どもがいる一方で、途中で集中が切れてしまい動いてしまう子どもも少なからずいる。そして、情緒が不安定で学習を始める時から意欲的に取り組もうとしない子どももいる。また、食事、排泄、衣服の着脱、移動などにおいて必ず見守りや支援を必要とする子どもが各学年に在籍しており、その中には他者の話を聞き取ることが難しいだけでなく、発する言葉が著しく不明瞭で伝わりにくい子どもも複数名いる。

そんな子どもたちに共通することは、自分で扱える語彙が少ないということだ。文章を聞いても読んで意味が分からなくて不安を感じたり、生活の中で自分の気持ちをうまく表現できずトラブルになってしまったりすることがある。

そこで、1,2学期の「ことばの時間」を活用して「気持ちの言葉」の学習を中心に、語彙を増やす活動に取り組んだ。活動を通して、自分の中に芽生える気持ちと言葉が繋がり、表現の幅が広がってきている。顕著に表れたのは読書ノートで、以前は「おもしろかった。」で終わっていた文章が、「こんなところに驚きました。」「初めて知ってわくわくしました。」などと、学んだことを活用して表現しようとする姿が見られた。

今後も様々な語彙に触れ、表現を豊かにすることが望まれる。そこで、この度の授業は、児童の実態に合わせて、様々な苦手意識を持つ児童が楽しみながらいろいろな語彙に触れる機会を増やすことを目指して組み立てることにしたのである。

### (2) 教材について

本単元では、特別支援学級の自立活動領域の内容を考慮に入れながら、いろいろな言葉に関わる課題に取り組む活動を計画した。

『名詞』『形容詞』『動詞』『接続詞』などの言葉に関わる様々な課題を準備し、『すごろく』のようなゲームをしながら問題に答えるという活動を行う。また、集団生活に不安を感じたりトラブルを起こしたりしがちな子どもも多いので、ソーシャルスキルトレーニングを取り入れた『ことば』に関する問題も用意する。子どもの特性に合わせて、興味をそそるような内容や、日常生活において経験できるわかりやすい内容などを含むように配慮した。また、1つのマスに難易度をいろいろ用意したり、自分で選んで答えられるようにしたりして、意欲的に参加できるように工夫する。取り扱う『ことば』や『文章』は、親しみを持ちやすい簡単なものを選ぶようにして、ほとんどの子どもにとって、抵抗感が少なく参加できるようにしたいと考える。

また、活動にグループで取り組むことは、様々な特性を持つ子ども同士が関わり合う機会を作ることになる。そこで、高学年と低学年を組み合わせたグループを活かして協力しながら活動が進められる

ように設定した。高学年がリーダーとなったり出題者となったりして、低学年の世話をしながら活動に取り組むことが期待される。異学年で取り組むことで、普段は支援者のサポートを受けている高学年の子どもも、「自分が引っ張っていくんだ。」という思いを持って参加することができる考えたのである。

## 8. 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
① 文字・語彙・短文などのことばの意味や活用方法を 知る。	① 絵や文章をもとに自分の考 えを言葉や身振り手振り、カー ド等で表したり説明しようとし たりする。	① 学習のルールを守って活 動に参加し、自分の学力 に合った課題に取り組もう とする姿勢が見られる。

## 9. 指導と評価の計画（3時間）

	時間	ねらい・学習活動	評価規準（観点） 【評価方法】等 ◎指導に生かす評価 ○記録に残す評価
I	第1時	・言語材料や目標表現を知る。	○知・技【発言・ワークシート】
	第2時	・ことばのトレーニングを通し、言語材料や目標表現を身につける。	○思・判・表【発言・ワークシート】
	第3時 (本時)	・サイコロを使用し、言語材料や目標表現を身につける活動に取り組む。 ・できたことを振り返り、言葉への関心を高める。	○主【発言・ワークシート】

## 10. 本時の展開 (A チーム)

### (1) 本時の目標

・語彙を増やし、読むことや表現することで自分のペースで取り組むことができる。

### (2) 本時の評価規準

・学習のルールを守って活動に参加し、自分の学力に合った課題に取り組もうとする姿勢が見られる。

### 【C①】

### (3) 本時の判断基準

十分満足できる状況 (A)	概ね満足できる状況 (B)	努力を要する子どもへの支援 (C)
ルールを守って、グループで協力し、自分にあった課題を選択し取り組んでいる。	ルールを守って、自分にあった課題を選択し取り組んでいる。	出題者にヒントを聞いたり、支援者と一緒に取り組ませたりする。

### (4) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準(観点) 【評価方法】等 ◎指導に生かす評価 ○記録に残す評価
3分	1. 始まりのあいさつをする。  2. 本時の予定を確認する。 ① 歌 ② 絵本の読み聞かせ ③ 言語材料や目標表現の確認 ④ サイコロクエスト ⑤ ふりかえり	・授業の始まりを意識できるよう姿勢を正すように言葉がけをする。  ・見通しを持つことができるように、本時の予定を確認する。	
15分	3. 歌を歌う。	・隠れている言葉に注目させて、歌詞について話し合わせる。 ・無理に歌わせるのではなく、歌詞を見て曲を聴いているだけでも、その姿勢を認めるようにする。	

	4. 絵本の読み聞かせを聞く。	・言葉について取り上げながら、絵本の読み聞かせをし、言葉への関心を高め、語彙が増えるように促す。	
20分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">       ㊦ みんなで きょうりよくして「さいころくえすと」をしよう！！     </div>		
	<p>5. グループでサイコロクエストをする。</p> <p>①ルール説明を確認する。</p> <p>②グループの代表者がサイコロを振って回答時間を決める。</p> <p>③問題を出題するグループ、回答するグループに分かれ、課題(クエスト)に取り組む。</p> <p>④回答者は、問題を1問正解するごとにシールを、回答するごとにグループへ文字カードを獲得する。</p> <p>⑤最終問題は今までに獲得した4枚の文字カードを並べ替え、ホワイトボードに回答する。</p> <p>⑥課題(クエスト)が終わったら、グループの役割を交代する。</p> <p>⑦ ②～⑥の活動をする。</p>	<p>・場所を2か所に分け、集中してそれぞれの課題に取り組めるように、教室の中央にパーテーションを設置する。</p> <p>・課題は難易度を3段階で設定し、自分に合った課題を選択できるように提示する。</p> <p>・選択した課題が早く終わったときには、1つ上の課題に挑戦するように促す。一番難しい問題を選択した児童は、他の課題に挑戦するよう促す。</p> <p>・時間制限があるため、回答に迷ったときは簡単な課題をするように言葉かけをする。</p> <p>・課題に取り組むことが難しい児童に対しては、出題者や支援者がサポートする。</p> <p>・活動を通して、指示通りに課題に取り組むことができるように、言葉かけをする。</p> <p>・グループで取り組むことで、高学年には低学年を助けながら活動をし、低学年は特にルールを守って活動させる。</p>	○主(発言・ワークシート)

7分	6. 本時の学習の振り返りをする。  7. 終わりのあいさつをする。	・気づいたことや頑張ったところや友だちの良かったところなどを発表させる。 ・『ふりかえりじゃんけん』で自己評価を提示させる。  ・授業の終わりを意識できるよう姿勢を正すように言葉がけをする。	○主(発言)
----	--	--	--------

## 11. 板書計画

㊦ みんなで きょうりよくをして「さいころくえすと」を しよう!!

やくそく

- ・グループで <sup>きょうりよく</sup> 協力する。
- ・ルールを <sup>まも</sup> 守る。
- ・<sup>さいご</sup> 最後まで ちょうせんする。

きょう よてい  
今日の 予定

- ・あいさつ
- ・よていの かくにん
- ・うた
- ・えほんの よみきかせ
- ・めあての かくにん
- ・「さいころくえすと」を する
- ・ふりかえり
- ・あいさつ

## 10. 本時の展開 (Bチーム)

### (1) 本時の目標

本時の活動を通して、語彙の活用・読み・表現の力を、自分の力に合わせて、目標を設定し、取り組むことができる。

### (2) 本時の評価規準


・絵や文章をもとに自分の考えを言葉や身振り手振り、カード等で表したり説明しようとする。

### (3) 本時の判断基準

十分満足できる状況(A)	概ね満足できる状況(B)	努力を要する子どもへの支援(C)
・言語材料や目標表現を知り、適切な語彙を活用しながら、自分のことを表現している。	・言語材料や目標表現を知り、適切な語彙を選んで、問題に取り組んでいる。	・前時までのワークシートを見られるようにして、振り返りながら取り組ませる。

### (4) 本時の学習過程

時	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準(観点) 【評価方法】等 ◎指導に生かす評価 ○記録に残す評価
5分	1. 始まりのあいさつをする。  2. 本時の予定を確認する。 ① 絵本の読み聞かせ ② 『気持ちを表す言葉』の暗記 ③ すごろクエスト ④ ふりかえり	・授業の始まりを意識できるように姿勢を正すように言葉がけをする。  ・見通しを持つことができるように、本時の予定を確認する。	
15分 準備	3. 絵本の読み聞かせを聞く。  4. 『気持ちを表す言葉』のカードを暗唱し、発表する。	・言葉について取り上げながら、絵本の読み聞かせをし、言葉への関心を高め、語彙が増えるように促す。  ・『気持ちを表す言葉』のカードを覚えることで、『気持ち表す	

	5. 覚えた『気持ちを表す言葉』を活用して、文章を作る。	<p>言葉』の語彙が増えるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・覚えた『気持ちを表す言葉』を活用する力がつくように、文章を作らせる。</li> </ul>	○『気持ちを表す言葉』を使って文章を作ることができる。(ワークシート)
15分 準備	<p>3. 絵本の読み聞かせを聞く。</p> <p>4. 『気持ちを表す言葉』のカードを暗唱し、発表する。</p> <p>5. 覚えた『気持ちを表す言葉』を活用して、文章を作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉について取り上げながら、絵本の読み聞かせをし、言葉への関心を高め、語彙が増えるように促す。</li> <li>・『気持ちを表す言葉』のカードを覚えることで、『気持ち表す言葉』の語彙が増えるようにする。</li> <li>・覚えた『気持ちを表す言葉』を活用する力がつくように、文章を作らせる。</li> </ul>	○『気持ちを表す言葉』を使って文章を作ることができる。(ワークシート)
20分	 ルールを守ってサイコロクエストをしよう！！		
	<p>6. ペアですごろくをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルール説明を聞く。</li> <li>・ペアですごろくの課題に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に取り組むことが難しい児童に対しては、前時のワークシートを見ることができるようにする。</li> <li>・すごろくの活動を通して、指示通りに動作ができるように、言葉がけをする。</li> <li>・ペアで取り組むことで、高学年には低学年を助けながら活動をし、低学年はルールを守って活動させる。</li> </ul>	○自分の力に合わせて、設定した目標課題を達成する。(ワークシート)
5分	7. 本時の学習の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頑張ったところを発表させる。</li> <li>・ペアの頑張っていたところを発</li> </ul>	



## 10. 本時の展開（Cチーム）

### (1) 本時の目標

本時の活動を通して、語彙の活用・読み・表現の力を、自分のペースで取り組むことができる。

### (2) 本時の評価規準

・学習のルールを守って活動に参加し、自分の学力に合った課題に取り組もうとする姿勢が見られる。

### (3) 本時の判断基準

十分満足できる状況(A)	概ね満足できる状況(B)	努力を要する子どもへの支援(C)
・難しい問題に取り組んだり、多答できる問いに対しいくつかの答えを書いたりしている。	・問題の答えを自分で考えて書いている。	・ヒントをもらえるように、ヘルプカードを用意する。

### (4) 本時の学習過程

時	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準(観点) 【評価方法】等 ◎指導に生かす評価 ○記録に残す評価
15分	1. ビジョントレーニングをする。 ・後出しじゃんけんをする。  2. 始まりのあいさつをする。  3. 本時の予定を確認する。 ① サイコロクエストのルールのおさらい ⑤ サイコロクエスト ⑥ 振り返り	・見るための集中力を高め、次の活動に繋げられるようにする。 ・はじめはゆっくり練習し、徐々にスピードアップしていく。 ・授業の始まりを意識できるよう姿勢を正すように言葉がけをする。 ・見通しを持つことができるように、本時の予定を確認する。	
25分	4. グループで活動をする。 ・めあてと約束を確認する。 ・ルール説明を聞く。 ・グループで課題に取り組む。	・課題に取り組むことが難しい児童に対しては、ヘルプカードで助けを求められるようにする。	◎主 【発言・ワークシート】

		<p>・活動を通して、指示通りに動作ができるように、言葉がけをする。</p> <p>・グループで取り組むことで、高学年には低学年を助けながら活動をし、低学年はルールを守って活動させる。</p>	
5分	<p>5. 本時の学習の振り返りをする。</p> <p>6. 終わりのあいさつをする。</p>	<p>・頑張ったところを発表させる。</p> <p>・グループの頑張っていたところを発表させる。</p> <p>・『ふりかえりじゃんけん』で自己評価を提示させる。</p> <p>・今日のやくそくを守ることができていたか確認する。</p> <p>・授業の終わりを意識できるよう姿勢を正すように言葉がけをする。</p>	○主【発言】

## 11. 板書計画

① サイコロクエストで  
ことば した  
言葉に親しもう。

やくそく

- ・なかよく かつどう 活動する。(けんかをしない)
- ・ないたり、おこったりしない。
- ・ルールを まも 守る。

きょう よてい  
今日の予定

- ・はじめのあいさつ
- ・ めあて やくそく の かくにん 確認
- ・クエストのルールのおさらい
- ・クエストをする
- ・ふりかえり
- ・おわりのあいさつ